

平成 30 年度家庭教育オピニオンリーダー研修 実施報告①

実施日：平成 30 年 9 月 12 日（水）

◎9 月 12 日から、全 7 回の「家庭教育オピニオンリーダー研修」が 40 名の受講者で始まりました。

○ 開講のあいさつ

栃木県総合教育センター所長 大森 亮一



○ 講話「子育て家庭の現状と課題」

東京家政大学 家政学部 児童学科 准教授 武田 洋子 氏

武田先生からは、子育て家庭の様々な状況として、子どもの誕生に関する変化、家族の多様化、育児が困難な要因等を丁寧に説明していただきました。さらに、子どもの一般的な発達について学びを深めた上で、今の親や子どもの現状を知り、求められている支援はどのようなものかについてご示唆いただきました。子育て支援で関わる時は、「してあげている」のではなく、「自分のためにも何かをもらっているものもある」ということや、「なぜこの活動をしたと思うのか」という気持ちを忘れないでほしい。」という言葉をいただき、今後地域で活動する際の参考となる有意義な研修になりました。



○ 説明「県の家庭教育支援施策と家庭教育を支えるボランティアの必要性」

県生涯学習課 副主幹 吉田 正道



家庭教育を取り巻く現状や家庭教育支援の課題を踏まえ、国の最新の動きも交えながら、県として支援のための施策をどのように実施しているのかについて説明がありました。

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会が関わる活動等についても紹介され、結びには「研修を通して多くのことを学び、そのスキルを地域での活動に生かして欲しい」という言葉がありました。受講者は、午前の研修と合わせて、栃木の子育て支援に関わることについて、考えを深めながら話を聞くことができたようです。

○ 施設見学「総合教育センター内関連施設」 栃木県総合教育センターボランティアの会

センター内の施設をセンターボランティアの会のみなさんに案内していただきました。初めて目にする場所がほとんどの受講者にとって、ボランティアの会の丁寧な説明は、とてもありがたかったようです。



○ 受講者の声〈アンケート結果より〉

- ・講話は、実際の問題点を掘り下げた内容で非常に有意義でした。具体的に何をすべきかをご教授くださいましたので、実践していこうと思いました。
- ・子育て中の母親に聞かせたい講話です。どのように関わって行けば良いのか何となくわかりました。「よいおばあさん転移」で話をしたいと思います。
- ・結局は、おせっかいな大人が近所にいなくなり、孤立してしまう核家族（特に母子）が増えてしまったことが原因かと思います。まずは、スーパー、近所等で赤ちゃんや幼児に温かいまなざしで見守ったり、一声かけてみたりすることから始めようと思っています。
- ・家庭教育オピニオンリーダーの必要性を感じました。自分にもできることを少しずつ始めていきたいと改めて感じました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp